

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



## ギデオンの

ちい

ぐん

## 小さな軍たい



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Janie Forest

かいさくしゃ

改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2007 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。





な  
ヨシュアが亡くなり、イス  
ひとひと  
ラエルの人々は、いつのまに  
かみ  
か神さまにしたがわなくなって  
かみ  
いました。みんな、神さまのこ  
わす せいかつ  
とをすっかり忘れて生活していた  
かみ  
のです。そこで、神さまは、イス  
いえ はたけ  
ラエルの家も畑も、となり  
す  
に住んでいるミデアン  
じん  
人たちによ

や  
って、焼かれ  
てしまうようにされたのです。ミデ  
じん に ひとひと  
アン人から逃げてイスラエルの人々  
あな なか す  
は、しかたなくほら穴の中に、住む  
ようになりました。





そのとき、ひとりのイスラエル人ギデオンの  
ひと  
う人がいました。かれは、だれも知らないひみ

つ<sup>ばしよ</sup>の場所<sup>そだ</sup>で、コムギを育てていたにちがい  
ほ  
ありません。ギデオンは、コムギの穂<sup>ほ</sup>の力

と  
ラを取るときも、大きな大き  
き <sup>おお</sup> <sup>おお</sup> <sup>おお</sup>  
した <sup>さか</sup> <sup>なか</sup>  
な木<sup>き</sup>の下の酒ぶねの中  
で、ひっそりと

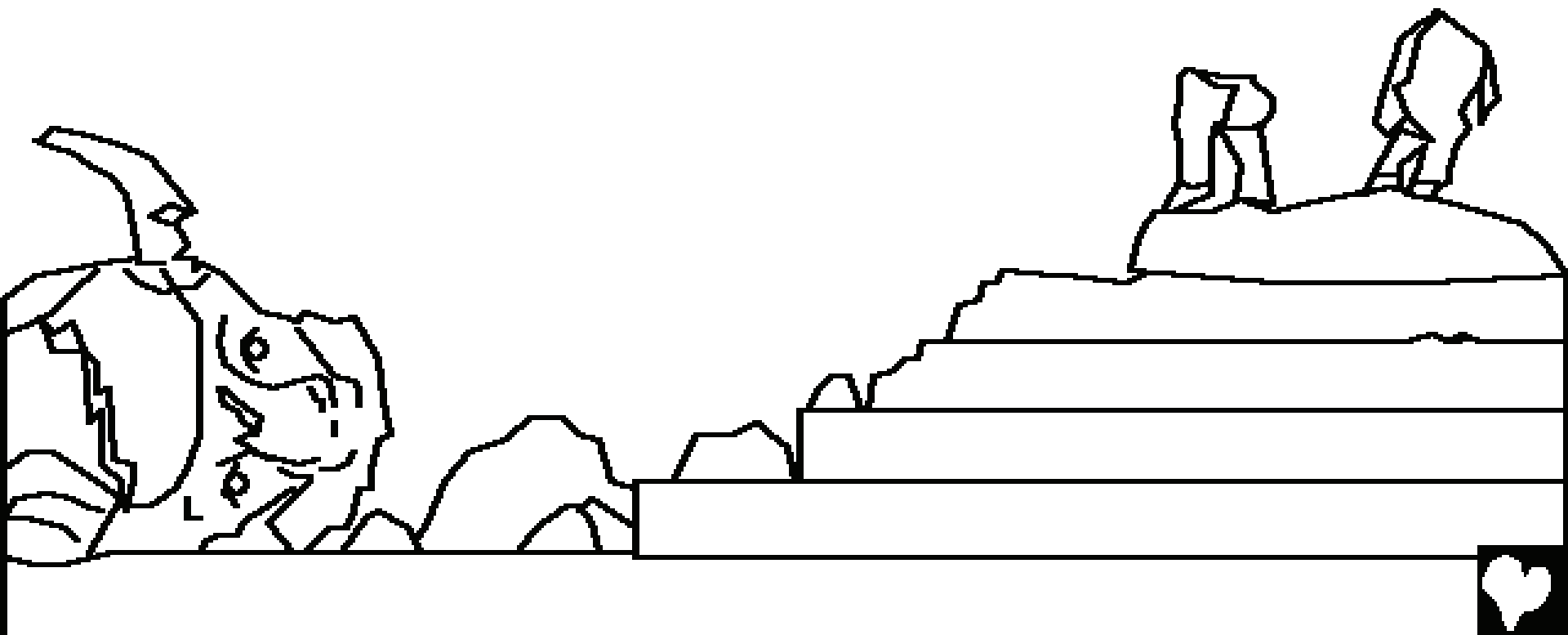
しごと  
仕事をしていました。



だから、ミデアン人<sup>じん</sup>たちも、そのひみつの場所<sup>ばしょ</sup>  
をし<sup>し</sup>知りませんでした。でもね、神さまはなんで<sup>かみ</sup>  
も知<sup>し</sup>っていらっしやいます。もちろんその  
ひみつの場所<sup>ばしょ</sup>もね。あるとき、神さまは、<sup>かみ</sup>  
そこにみ使<sup>つか</sup>い<sup>おく</sup>を送り、ギデオ  
ン<sup>なに</sup>に何かつたえまし  
たよ。



かみ い とう も かみ  
神さまは、言われました。「ギデオン、あなたのお父さんが持っているにせの神  
ぞう かみ さい き  
の像をこわし、ほんとうの神さまの祭だんをつくりなさい。」それを聞いたギデ  
おとこ おこ じぶん  
オンは、こわくてたまりません。イスラエルの男たちが怒って、自分をころし  
く おも かみ  
に来るだろうと思ったのです。でも、かれは神さまにしたがい、めいれいどおり  
にやりました。



かみ い ぐん わる じん  
神さまは、また言われました。イスラエルの軍をみちびき、悪いミデアン人を  
やっつけるようにと。けれども、それを聞いたギデオン、やっぱりこわくてたま  
りません。そこで、かれは、かみ 神さまにおねがいしました。「神さま、どうぞあな  
たが私 わたし といつもいっしょにいてくださることがわかりますように、とくべつの  
しるしを、み見せてください。」こう言って、



つち うえ  
ギデオンは、土の上  
にやわらかいヒツジ  
けがわ ひろ  
の毛皮を広げました。





そして、つぎにこう祈りました。  
「神さま、もし土はぜんぶかわ  
わいていて、ヒツジの  
毛皮にだけ、つゆが  
おりていれば、おっ  
しゃるとおり神さ  
まが私といっしょ  
にいて、私が  
ちびく軍を助けて  
くださり、イスラエルを救

うことができるとうわかるでしょう。」さて、朝に  
なりましたよ。土はどうなっていたでしょう？そう、カラカラ  
にかわいていましたよ。では、ヒツジの毛は？雨にぬれたよう  
に、びしょぬれだったのです。

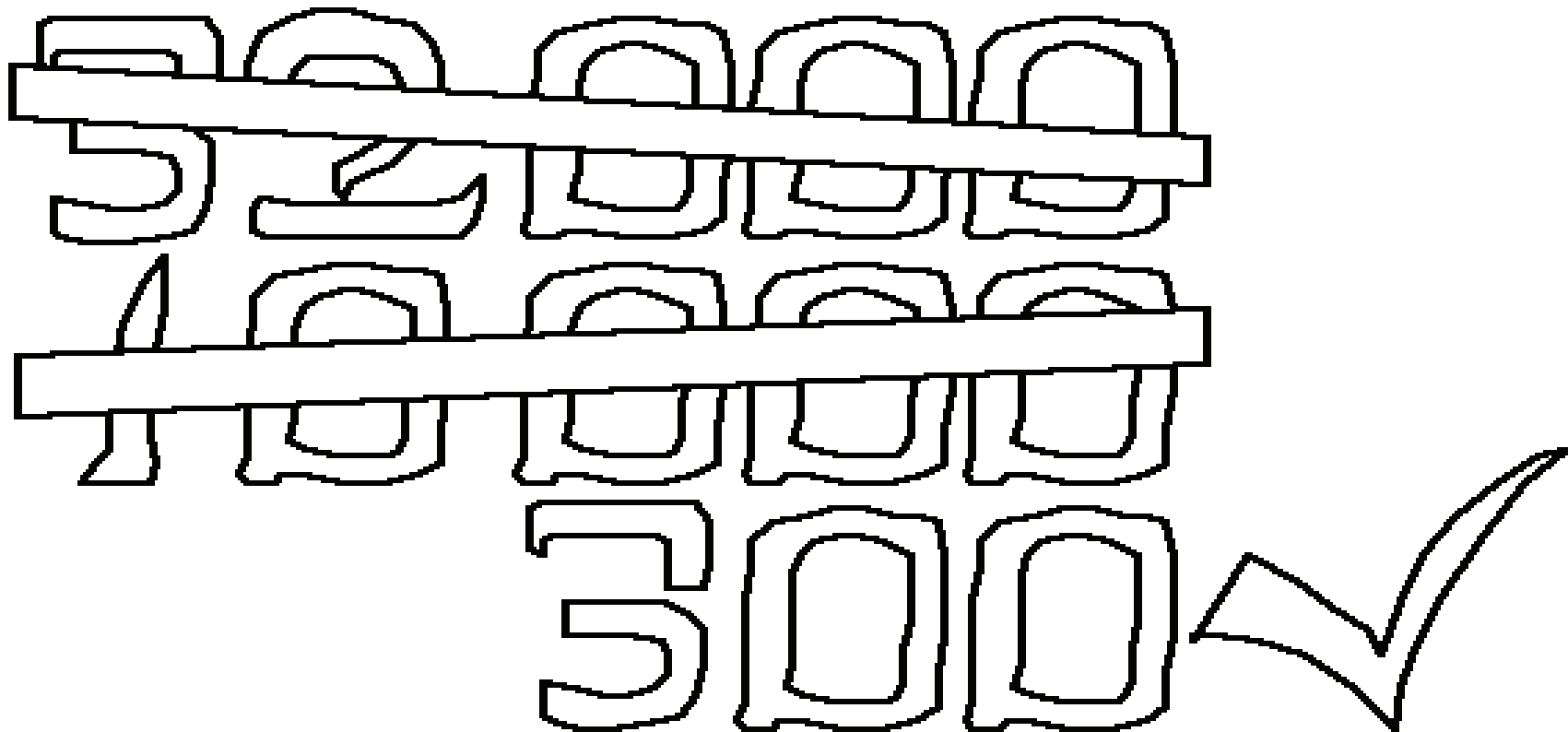




それでも、ギデオンは、まだうたがっていま  
した。こんどは、こう祈いのりました。「神さかみ  
ま、あしたは、ヒツジの毛けの上うえにはなく、  
土つちにしもがおりますように。」さて、つぎの  
日ひの朝あさ、どうなったでしょう。土つちは、びしょ  
びしょにぬれていました。では、ヒツジの毛け  
は？カラカラにかわいていましたよ。



ギデオンは、<sup>にん</sup>32000<sup>へいし</sup>人もの兵士をつれて出かけました。ところが、<sup>かみ</sup>神さま  
は、<sup>い</sup>こう<sup>にん</sup>言われました。「<sup>にん</sup>300<sup>にん</sup>人にへらしなさい。」と。なぜなら、<sup>かみ</sup>神さまは  
イスラエルの<sup>ひとびと</sup>人々が、「イスラエルは、<sup>じぶん</sup>自分たちの<sup>ちから</sup>力で<sup>すく</sup>救ったのだ。」<sup>い</sup>と言う  
だろう<sup>おも</sup>と思われたからです。ただひとり、<sup>かみ</sup>神さまだけがイスラエルの<sup>すく</sup>救い<sup>ぬし</sup>主なの  
です。



かみ

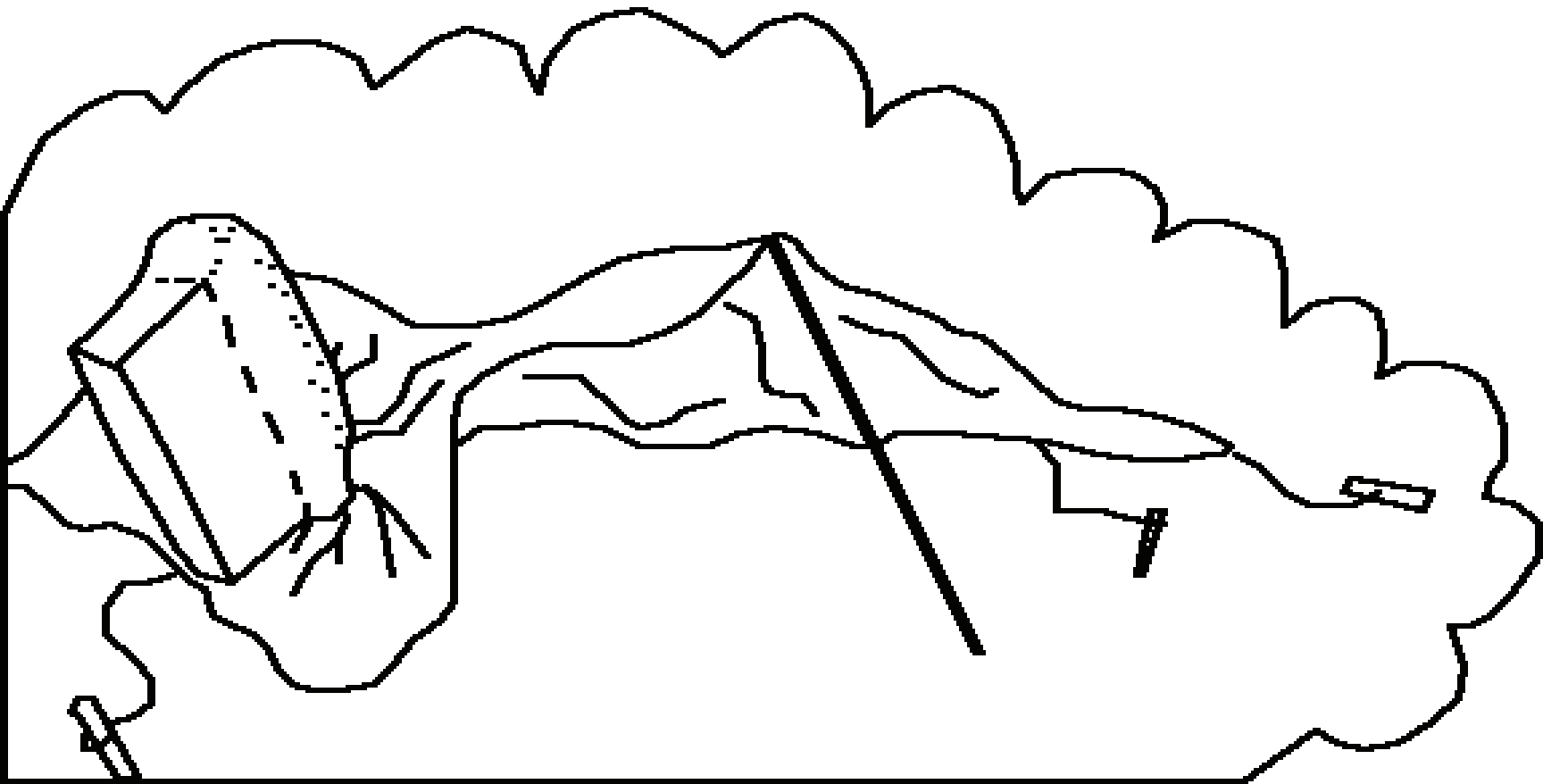
たたか

神さまは、ギデオンが、まだまだ戦いをこわがっているのを、よくわかって

いらっしゃいました。そこでギデオンに、ひとりのミデアン人がもうひとりに、

ふしぎなゆめについて話すのを、ぬすみ聞きさせましたよ。そのゆめとは？

まるいパンが1こ、とつぜんミデアン人のテントに転がってきて、テントを  
たおしてしまったというゆめです。





はなし き へいし  
そのゆめの話を聞いた兵士は、  
「ああ、おそろしい！そ、そ、  
それは、ギデオンの剣にちが<sup>つるぎ</sup>い  
ない。」と、泣きさけびました。  
ミデオン人のゆめと、その意味<sup>いみ</sup>を  
聞いたギデオンは、それでやっと、  
神さまが自分に勝利<sup>かみ じぶん しょうり</sup>をあたえよう  
とされていることが、はっきりと  
わかったのです。



ギデオンは、夜<sup>よる</sup>になってから攻め<sup>せ</sup>  
ることにしようと、きめました。

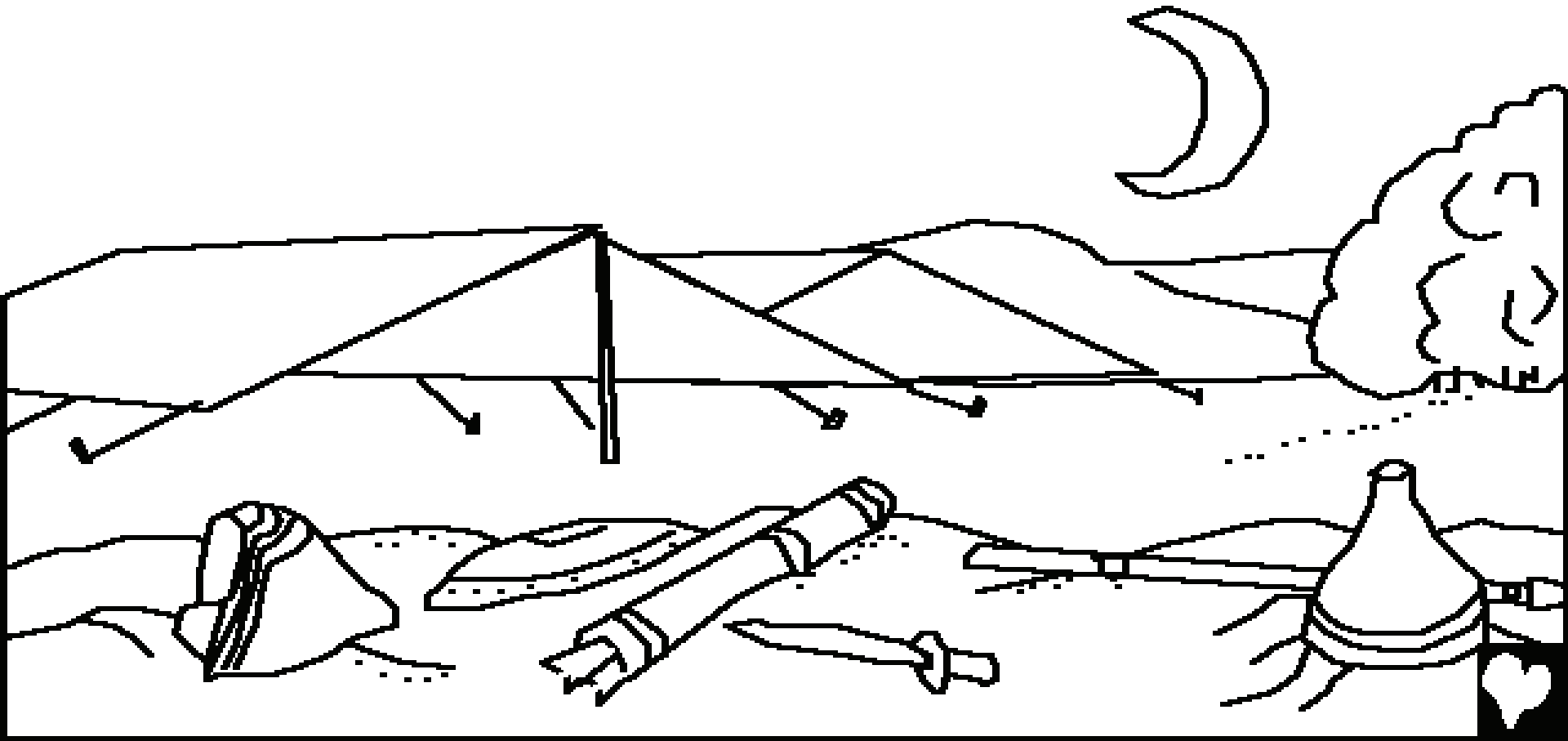
かれは、兵士<sup>へいし</sup>ひとりひとりに、ト

ランペットとタイマツ<sup>はい</sup>が入<sup>はい</sup>ってい  
る空<sup>から</sup>っぽの水<sup>みず</sup>がめ<sup>も</sup>を持<sup>も</sup>たせまし

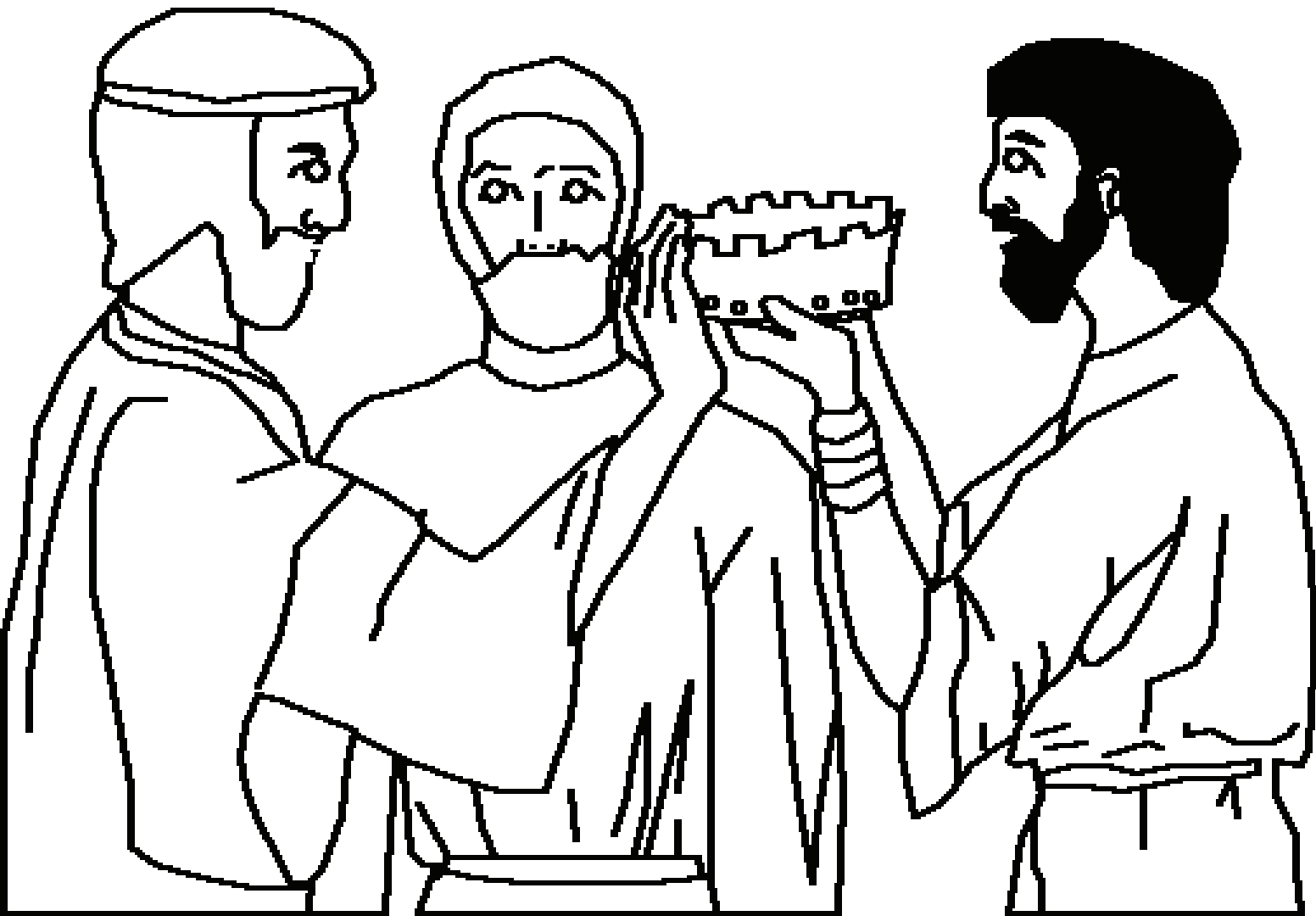
た。それから、ミデアン<sup>じん ぐん</sup>人の軍<sup>ぐん</sup>を  
とりかこみました。



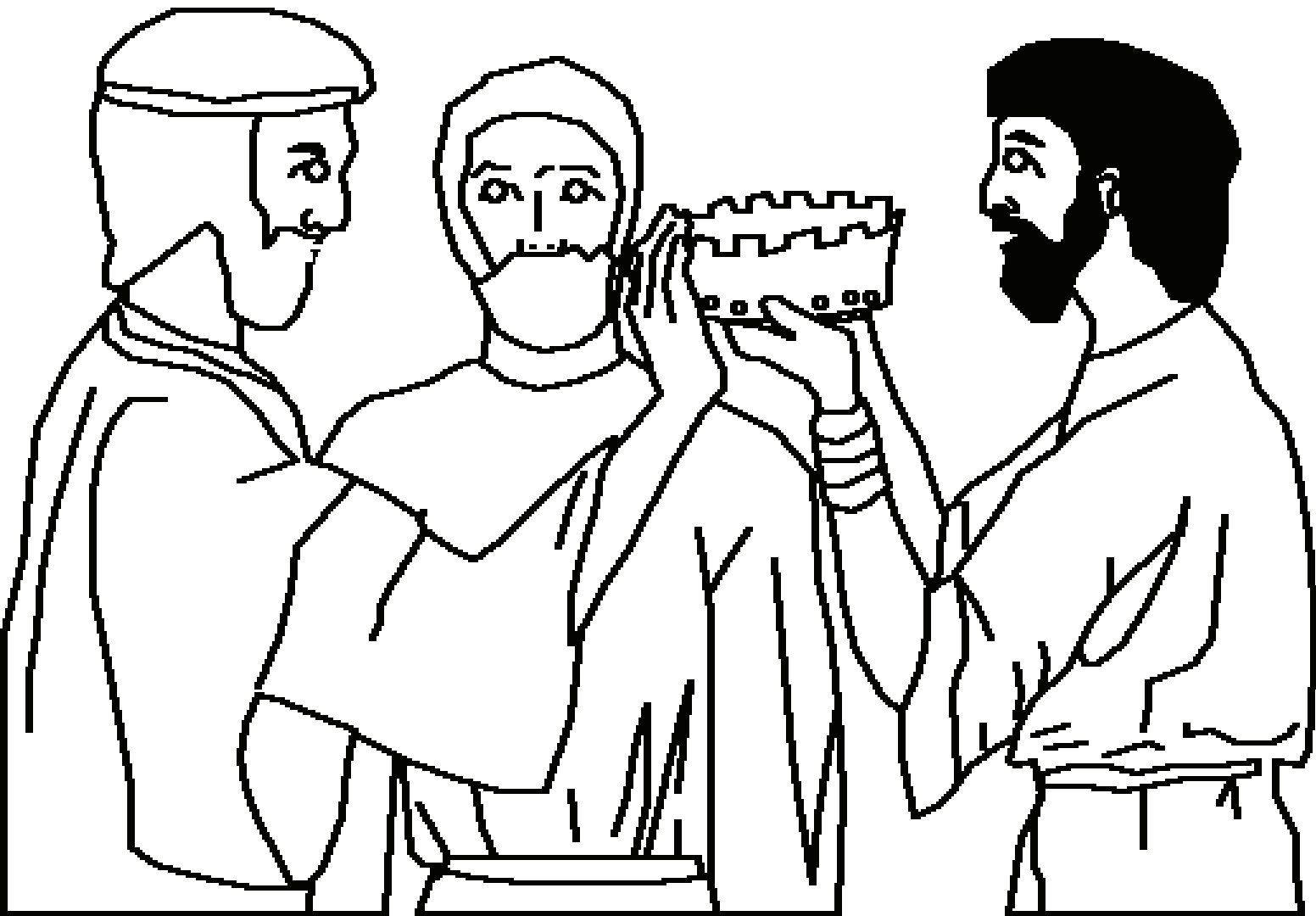
いま、ギデオンがあいず合図へいししましたよ。兵士たちは、いっせいにトランペットを  
ふ吹もきみずならし、持ひっていた水がめをぶちこわし、タイマツに火をつけました。  
でも、まあなんていうひどい音おと！そしてまあ、なんていうひどいさわぎで  
しょう。「助たすけてくれー。」ミデアン人じんたちは、ぶつかったり、ころんだり。  
さけ叫いびながらにげて行きました。



こうして、ギデオンのちいのぐんの小さな軍たいは、みごとに勝つことができたのです。イスラエルの人たちは、ギデオンにたのみました。「どうぞ、わたしたちの国を治めてください。」と。けれどもギデオンは、きっぱりとこう答えました。



「いいえ、わたしがイスラエルを、<sup>おさ</sup>治めるのではないのです……。わたしたち  
<sup>しゅ</sup>の主が、<sup>おさ</sup>治めてくださるでしょう。」<sup>かみ</sup>ギデオンは、よくわかっていたのですね。  
ただ神さまだけが、わたしたちを<sup>しはい</sup>支配して<sup>ちから</sup>くださる<sup>かた</sup>力のあるお方なのでありますから。





ちい ぐん  
ギデオンの小さな軍たい

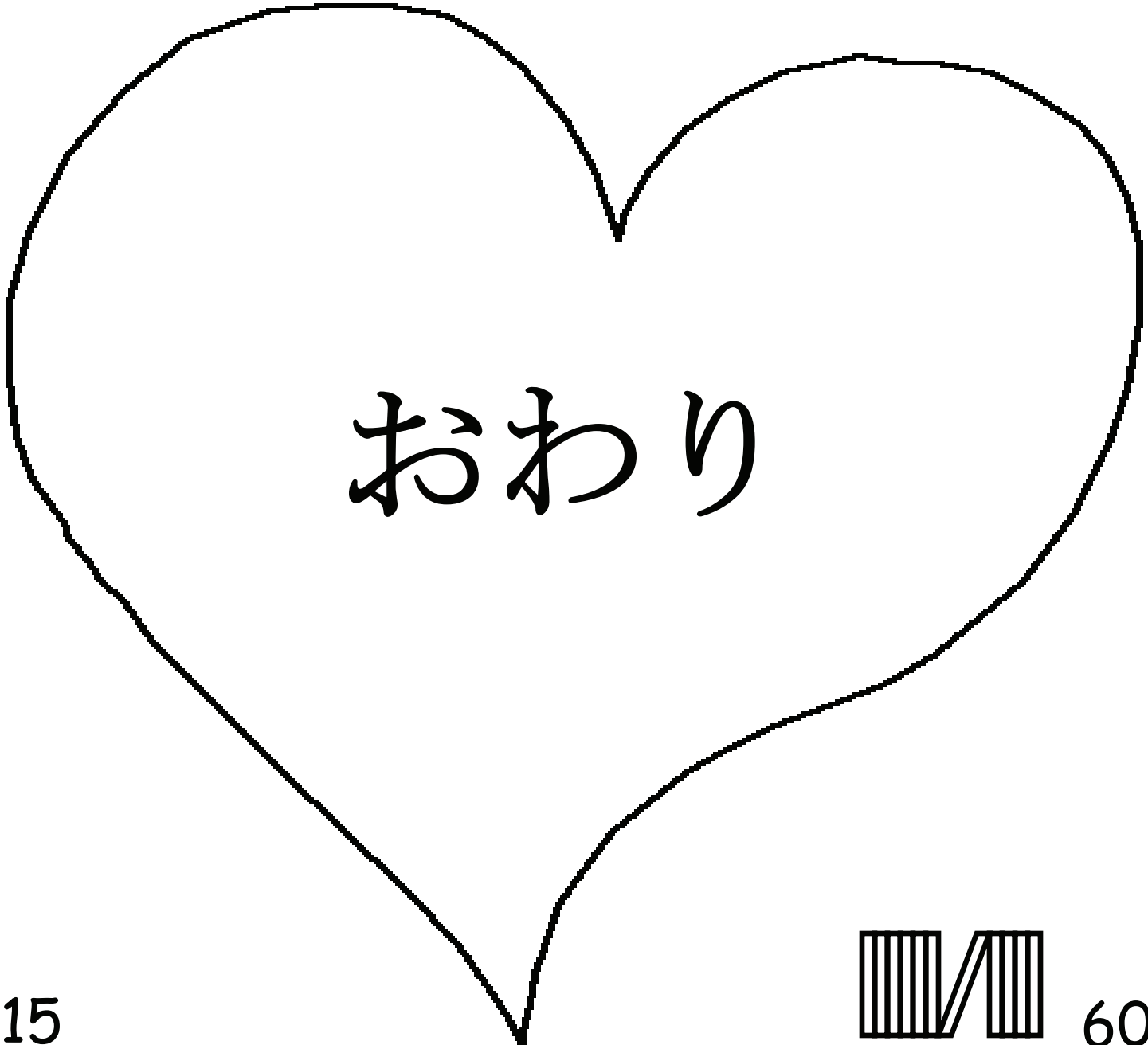
かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

し しき しょう しょう  
士師記 6 章 - 9 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130





おわり

15

60



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいますとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしよに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってくださいます。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてくださいます。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしよにいる  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてくださいます。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

